

研修会「実質賃金と地域間格差」を開催します

ここ数年、著しい物価上昇の一方で、私たちの賃金の上昇は限られたものになっています。実際、物価の上昇を考慮した「実質賃金」は、むしろ低下傾向にあります。その上、島根県の賃金の上昇は全国よりも鈍く、実質賃金も全国と比べて弱い動きとなっています。

こうした状況をみると、生活の中にも地域間格差の存在を感じざるを得ません。なぜ、実質賃金が下がる中、地域間格差が広がっているのか。今後に向けての打開策はあるのか。

今回は、公共経済学や地域経済学の視点から、「地域が元気になる政策」を研究しておられる中央大学総合政策学部の川崎一泰先生をお招きし、実質賃金と地域間格差をテーマとした研修会を開催することとしました。

参加ご希望の方は電子申請サービスにてお申し込み下さい。

(<https://ttzk.graffer.jp/pref-shimane/smart-apply/surveys/6946506643507988626> 締切：8月22日(木))



1. 日時、会場

日時：令和6年8月28日(水) 13:30～15:40

場所：島根県民会館多目的ホール（松江市殿町158（電話：0852-22-5506））

2. 対象者

島根県及び各市町村の職員等

3. 内容

13:30～13:35 開会

13:35～13:55 情報提供：統計データでみる島根県の最近の社会経済の動き

提供者：島根県政策企画局統計調査課 課長補佐 森 永壽

13:55～15:25 講演「人口減少時代の地方創生

～データで見る地域間格差と実質賃金の向上に向けて～」

講師：中央大学総合政策学部 教授 川崎 一泰 氏



プロフィール：

1969年生まれ。1993年 法政大学経済学部卒業、2000年 同大学社会科学部研究科博士課程満期退学。博士(経済学)。(財)社会開発総合研究所、(社)日本経済研究センターなどを経て、2019年より現職。主要著書に、『地域再生の失敗学』(2016年)、『官民連携の地域再生』(2013年)など。神奈川県、川崎市、相模原市などで、各種委員として政策立案などにも関わっておられます。

15:25～15:40 質疑応答

15:40 閉会